

地域で守っている自然環境。
その自然を通じて得られる水の恵みで、人も育てられています。
そんなみずと人との関係を感じられる場所へ
この夏出かけてみませんか・・・

まいばら みずと人

「醒井」ハリヨと梅花藻のまち

醒井には地藏川の梅花藻とハリヨ、醒井地藏があります。

地藏川は年に2回の一斉清掃、そして、5月3日の春祭りのお神輿の御渡など、区民のみなさんから支えられ、親しまれています。

8月の醒井地藏祭は区民が製作する「造り物」が立ち並ぶ中、「コンサート」が開催されるなど、にぎやかになります。

醒井にお立ち寄りの際はぜひこの地域の魅力を感じてください。

醒井地藏
昔、地藏川の中に座っていた「尻冷やし地藏」で、延命長寿の地藏として有名。湖北三大地蔵のひとつ。

醒井区内のイベント案内

7月21日(土)～8月5日(日)
梅花藻ライトアップ

8月23日(木)・24日(金)
醒井地藏祭



醒井区長
かわうち まさみち
河内 正道さん



十王水

平安時代中期に天台宗の僧・浄蔵貴所によってひらかれました。初めは浄蔵水と呼ばれていましたが、この近くに十王堂があったことから十王水と呼ばれるようになったそうです。



西行水 ～子授かり水～

西行法師が飲み残した茶の泡を飲んだ茶屋の娘が懐妊。それを知った西行が、「もし自分の子どもなら泡に戻れ」と言うと、その子はたちまち泡になったそうです。

湧水



いぼとり水 (上丹生)

天台座主第13世法性坊尊意の初洗い水に魅せられた旅人が、手にすくって飲んだところ手のイボがとれたといわれます。この水をいぼとり地藏に備えた後、イボにぬると良いそうです。



天神水 ～知恵の水～ (枝折)

天神信仰による天神様が祭られている菅原道真公ゆかりの湧水。整備された公園となっていて、丸石の敷かれた浅瀬では水遊びもできます。

「醒井七湧水」めぐり

もう少し足をのびして

観光
スポット
案内



中山道醒井宿資料館
旧醒井
郵便局局舎

開館時間▶9時～17時 月曜日休館
入館料▶200円 ☎54-2163



2階の窓際の様子

JR醒ヶ井駅前の三差路から醒井大橋までの大正通りに位置する旧醒井郵便局局舎。大正時代にヴォーリズが建築に参加した擬洋風建築です。



資料館 管理人
おおばやし ちゆうじ
大林 忠治さん

ヴォーリズが設計に携わった局舎、そして醒井の歴史的な魅力を発見しにきてください。

2階には300年前の住宅地図など、貴重な古文書が10点ほど展示されています。
また、洋風と和風が交差する窓際は、当時の風情を感じられる場所になっています。



ふるさとの歴史を学ぶ会
いちかわ ましお
市川 義夫さん

「造り物」の由来について
醒井宿では江戸時代、曳山・子ども歌舞伎を奉納していました。明治以降、曳山はできなくなりましたが、その曳山の舞台装飾技術を活かすために始まったのが「造り物」、そして「装装行列」(今は装装盆踊り)です。仕上がりを競う審査が、まつり期間に行われています。



地藏川とハリヨを守る会 代表
おつすか なるまさ
大橋 邦男さん

平成14年からハリヨ・梅花藻を保護する活動を少人数で行っています。8月にはハリヨ等の巣の確認、9月から11月にかけては川に入って体長や数の調査をするなど、地道な活動を行っています。貴重な生物と触れ合う活動に興味がある方は、ぜひご連絡ください。
連絡先 ☎54-0907 (大橋様宅)



いざめ しみず
居醒の清水 平成の名水百選 第1位*

梅花藻が咲く地藏川の源泉です。その昔、伊吹山の神との戦いの際、毒氣にあたったヤマトタケルを癒した水と伝えられています。

*「日経プラス1」2008年7月19日付。環境省選定の「平成の名水百選」から同紙がランキングしたものを。

「まいばらみずと人」特集についての
お問い合わせは...
米原観光協会 ☎58-2227まで



しょうじゅうすい
鍾乳水

名勝・醒井峡谷を形成する宗谷川上流の醒井養鱒場内に湧き出しています。豊かな水量と清浄な水質は、ピワマスやニジマス、イワナなどの養殖に最適です。



えん ぎょうじや よきわ みず
役の行者の斧割り水

役行者が修行中、水を求めて弟子に斧で岩を割らせたところ、こんこんと水が湧き出したと伝わることから、この名が付けられています。

まいばらみずと人

滝

「姉川上流」

県道40号(山東本巣線)



なお、滝がある所は、熊やイノシシなどが生息している区域になります。単独行動は避けてグループで行動するなど、安全に配慮してください。

また、砂防ダム左手の林道を車で少し進むと「五色の滝」まで0・5kmのルートもありますので、比較的容易に観賞できますよ。

起し又川上流の砂防ダム付近から五色の滝に向かうルートをたどっていくと、5つの滝と巡り合います。5つそれぞれに違う景色を持っていることから「五色の滝」という名称が名付けられたそうです。石臼の産地として有名な曲谷には石切り場がいくつが残っていますが、この五色の滝ルート途中にもその名残があります。

五色の滝



曲谷
集落北部

駐車場から5分の場所なので、気軽に楽しめます。水もきれいで、空気もきれいな場所ですので、自然を満喫してってください。



東草野まちづくり懇話会 座長
法雲 俊彦さん

江戸時代の村の魚取り名人、与九郎さんがイワナなどを捕まえていた場所だったことからその名前がついた滝。藤の花(4月下旬)や秋の紅葉が見られるなど季節を問わず楽しめ、運が良ければゲンジボタルを6月下旬〜7月上旬に見ることができます。

姉川に足をつけることもでき、ひっそりと、涼しい時間を過ごせる場所となっています。

与九郎の滝



甲賀
集落北部

さざれ石は何年経っても苔が生えない石。君が代の一節「苔の生すまで」の奥深さをぜひ、直接体験してください。



かがひ 幽玄
「燎火幽玄」と銘されている
展示品のさざれ石

国歌「君が代」の歌詞に登場する「さざれ石」は、春日街道と呼ばれる場所の近くから見つけたものだという板並にある古くからの伝承。これを頼りに地元の有志で「さざれ石」を調査に向かった際、偶然見つけたのがこの滝で、滝を形成する岩盤もさざれ石と同成分のため、さざれ石の滝と名付けられています。

見学ツアーは、毎週水・土・日曜日の11時、14時に行われています。詳細は、ふれあいの里バ―ホール板並まで。

さざれ石の滝



常時閉鎖
(見学
ツアー
のみ)

スローウォーターなくらし

7月21日(土) 13時30分～16時
伊吹薬草の里文化センター

入場
無料

みなさん、ご存じですか？

米原市には大小含めて250を超える湧水や滝が存在していることを。昔は、これらの湧水や地下水、川の水を飲料水や田用水など生活全般に利用し、地域で大切に守られ、「水」と生活はもっと密接な関わりを持っていました。



水道の蛇口をひねればあたりまえのように水が出てくる今の暮らしは、水の恵み、自然の恵みを肌で感じられなくなっているのかもしれない。

3.11の大震災を経験した今、かつてのスローな水と人との暮らし方から、現代の水を取り巻く自然環境やライフスタイルについて考えてみませんか。

水フォーラムイメージキャラクター
Illustration by Kentaro Takahashi

13時30分～ オープニング

「水環境の喪失と再生 ～米原の新たな “響き合い”を求めて～」

京都精華大学准教授・音楽家
小松正史さん

ピアノが奏でる音楽と映像の
饗宴をお楽しみください



13時50分～ 基調講演

「水でつながる 地域の自然と暮らし」

滋賀県立大学 理事・副学長 仁連孝昭さん



15時～ パネルディスカッション

「水源の里まいばら スローウォーターのお話」

- コーディネーター
須藤明子さん(株式会社イーグレット・オフィス)
- パネラー
仁連孝昭さん・小松正史さん・米原市長ほか

*その他、水にまつわる景品が当たる抽選会もあります。
*この事業は全国モーターボート競争施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

お問い合わせ
水源の里まいばら水フォーラム市民実行委員会
(伊吹庁舎 環境保全課内)
☎58-2230 ☎58-1630
✉ kankyohozen@city.maibara.lg.jp

お立ち寄り ポイント



甲津原交流センター

通常営業時間▶土・日・祝日の10時
～16時(平日でも事前に5人以上の
予約があれば営業します。)
連絡先▶☎59-0225



この看板が
目印です

お食事処 片田舎 (ふれあいの里リバーホール板並)

営業時間▶11時～14時
定休日▶月曜日
(月曜日が祝日の場合は火曜が休み)
連絡先▶板並炭焼き保存会
☎・☎56-2245



道の駅 伊吹の里 旬彩の森

営業時間▶毎日9時30分～17時
(1月～3月は毎週木曜日定休)
連絡先▶☎58-0390 ☎58-0406